

呉市議会の議員定数削減に対する意見の募集について（案）

呉市議会では、適正な議員定数について令和6年6月定例会をめぐりとして結論が出せるよう、昨年来、議論を進めています。

このたびは、呉市在住の皆様の御意見も参考にさせていただきながら、議員定数を決定したいと考えていますので、御意見をお寄せください。

なお、提出された御意見に対しては、個別の回答はいたしませんので、あらかじめ御了承ください。

また、個人が特定されるような情報については公表いたしません。

【意見を募集する案件】

呉市議会の議員定数を2人削減することについて（定数を32人から30人へ変更）

【意見の募集期間】

令和6年5月10日（金）～令和6年6月10日（月） **※必着**

【意見の提出方法・提出先】

別紙の意見書様式に御意見並びに住所、氏名及び電話番号を御記入の上、次の①～④までのいずれかの方法で提出してください。

なお、意見書様式を用いない場合は、必要事項を御記入の上、案件名を「呉市議会の議員定数を2人削減することについて」と明記して、提出することもできます。

① 郵送で提出していただく場合

〒737-8501 呉市中央4丁目1番6号 呉市議会事務局 議事課 宛

② ファクシミリで提出していただく場合

ファクシミリ番号 0823-24-7903

③ 電子メールで提出していただく場合

電子メールアドレス gikaigiz@city.kure.lg.jp

（電子メールの件名を「呉市議会の議員定数削減について」としてください。）

④ 持参していただく場合

呉市役所3階 議会事務局（呉市中央4丁目1番6号）

※ 電話による御意見はお受けいたしませんので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】

呉市議会 議会事務局 議事課 電話 0823-25-3246

議員定数を議論する上で市民の皆様にご覧いただきたいこと

1 議員定数について

呉市議会では、二元代表制の一翼を担う存在として、行政に対するチェック機能と、市民の意見を市政に反映させた政策の立案及び提言機能を十分に発揮し、市政における意思決定機関としての責任を果たすべく、これまで呉市議会基本条例の制定を初めとした議会改革に取り組んできました。その取り組みの中で、呉市にとって適正な議員定数について協議を進めております。

議員定数については、市の人口や面積、地形の特性など、様々な地域の実情や市民の皆様の見解を考慮した上で定める必要があります。

議員定数の変遷

年月	議員定数
平成 23 年 5 月	38 名から 34 名へ変更（4 名削減）
平成 27 年 5 月	34 名から 32 名へ変更（2 名削減）

令和 5 年度議員定数についての協議経過

年月日	主な協議内容
令和 5 年 9 月 5 日	・ 議員定数協議スケジュール及び参考人を 2 人招致することに決定
令和 5 年 9 月 26 日	・ 他市の状況調査報告
令和 5 年 11 月 7 日	・ 参考人 南山大学「榊原教授」による講義及び質疑応答
令和 5 年 11 月 10 日	・ 参考人 広島修道大学「伊藤教授」による講義及び質疑応答
令和 6 年 2 月 2 日	・ 議員定数の人数について各会派から意見聴取及び協議
令和 6 年 2 月 19 日	・ 議員定数の人数について意見集約及び協議

2 呉市議会の活動について

（1）市議会の役割

市議会は、選挙で市民から選ばれた市議会議員で構成され、市民の要望や意見をくみとり、行政に反映させ、市政の方向を決める大切な役割を果たしています。市の予算 や条例等, 市政の重要なことを審議・決定する役割を担っています。

（2）市議会の権限

市長は、市の様々な仕事を実施していく権限、執行権を持っていますが、条例を制定・改正・廃止すること、予算を決定すること、決算を認定すること、一定額以上の契約の締結を許可することなどの重要事項については、議会の議論を経て、市議会の議決がなければ行うことができません。

この権限を議決権といい、市民の代表である議会は、行政の様々な施策について、市民に代わってチェックをしています。

(3) 議会運営状況

呉市議会では、年4回の定例会（3月定例会は概ね1カ月6・9・12月定例会は概ね2週間）と、必要に応じて臨時会を開いて、市が行っている仕事の問題点や市長から提案された条例の可否について議論を行っています。また、定例会以外の時期にも、年間60日程度の委員会を開いて、様々な協議をしています。議会の審議案件の複雑多様化、専門化に伴い、審議の効率化。専門化を図るため、議会の内部機関として特定の議員で構成する委員会が設けられています。委員会は、本会議から付託（審査を委託すること）された議案、請願・陳情などを詳細に審査するほか、所管する市の事務についての調査を行います。

【本会議等の会議日数（令和5年1月～12月）】

会議名等	日数	会議にかけた件数
本会議	25日	204件
委員会	97日	147件

3 他市の議員定数の状況について

中核市等各区分の比較

区分		議員定数（人）		議員1人当たりの人口（人）		議員1人当たりの面積（km ² ）		職員総数		財政力指数（市のみ）		
中核市	全体【62市】 平均人口 365,624	最大	船橋市	50	川口市	14,418	いわき市	33.30	船橋市	3,914	豊田市	1.42
		最小	寝屋川市	24	鳥取市	5,767	吹田市	1.00	甲府市	1,074	函館市	0.48
		平均	36.66(36.71)		9,841(9,846)		11.10(11.10)		2,344		0.78	
		呉市	49番目	32	59番目	6,657	27番目	11.03	57番目	1,554	54番目	0.59
	合併経験有【30市】 平均人口 376,832	最大	鹿児島市他	45	鹿児島市	13,340	富山市	32.68	鹿児島市	3,813	豊田市	1.42
		最小	函館市	27	呉市	6,657	柏市	3.19	八戸市	1,188	函館市	0.48
		平均	37.97		9,797		13.87		2,477		0.76	
		呉市	27番目	32	最下位	6,657	17番目	11.03	28番目	1,554	25番目	0.59
17～28万未満	【70市】 平均人口 220,688	最大	目黒区他	36	八尾市	10,142	松本市	31.56	津市	2,350	安城市	1.26
		最小	寝屋川市他	24	山口市	5,576	台東区	0.32	小平市	901	函館市	0.48
		平均	29.81(29.87)		7,439(7,376)		7.85(8.08)		1,476		0.83	
		呉市	14番目	32	53番目	6,657	19番目	11.03	28番目	1,554	55番目	0.59
20～30万未満	【47市】 平均人口 244,369	最大	盛岡市	38	八尾市	10,142	松本市	31.56	津市	2,350	厚木市	1.20
		最小	寝屋川市	24	台東区	6,366	台東区	0.32	台東区	1,824	函館市	0.48
		平均	30.68(30.77)		8,023(8,006)		7.68(7.66)		1,632		0.83	
		呉市	14番目	32	45番目	6,657	14番目	11.03	28番目	1,554	35番目	0.59
県内市	【14市】 平均人口 186,720	最大	広島市	54	広島市	22,021	庄原市	62.32	広島市	14,303	東広島市	0.85
		最小	竹原市	14	江田島市	1,361	大竹市	4.92	竹原市	215	庄原市	0.26
		平均	25.71(25.71)		5,131(5,164)		19.10(19.10)		1,798		0.56	
		呉市	3番目	32	3番目	6,657	9番目	11.03	3番目	1,554	7番目	0.59

※括弧内は、前回調査〔令和3年9月〕の数値

参考人 榊原秀訓教授（令和5年11月7日実施）

●結論（まとめ）

- 定数を削減しても住民の納得は得られず、議員定数削減の無限ループに陥る可能性がある。
- 根本的な問題として、政治不信に向き合わない限り根拠なき削減論は、断ち切れないのではないか。
- AI民主主義（議会不要）などの考え方に魅力を感じるようになっていないか。
- 議員定数を定める際には、今まで以上に判断の過程の透明性を高めて、**どのような考慮事項（価値）をどのように重視したのかを住民に示すしかない**と考えられる。また、長期的には議会の活動を通して、**議員への信頼を高めるしかない**と考えられる。

●考慮事項

1 地方行革と地方分権改革の影響

1980年代中頃から国が地方議会の「合理化」（議会定数削減・議員報酬適正化）を「地方行政改革」の中で求め、多くの自治体が議員定数を削減した。法定上限制度撤廃後も議員定数の削減傾向は継続し、いまや各議会が「自発的に」議員定数を削減している。

2 議会における多様性の強調

多様性とは、社会における多様な意見が地方議会に反映されることと、議員自身の多様性が考えられる。第33次地方制度調査会（総務省）の答申では、後者の重要性に言及されており、マイノリティ（少数派）を代表する議員が必要ということになれば、相当数の議員が必要との考えになる。また、女性議員が増えると民主主義の質が高まるとの考えもある。

3 政治的観点からの議員定数

ダメ議員が存在することから、少数精鋭の議員にするために議員定数を削減するという意見がある。また、精鋭（有能）であることと、選挙に強いことは異なり、少数になっても精鋭になるかは分からず、多様性や代表機能が犠牲になってしまうとの意見がある。

住民の意見を反映することは重要であるが、「根拠なき削減論」におされ、選挙での支持を得るために、議員定数削減を支持する議員も考えられる。また、議会等費用は無駄との要望が繰り返されて、デフレスパイラル的に議会機能が低下するとの考えがある。

行政職員削減の模範として、議員定数も削減すべきとする議論があるが、そもそも職員と議員の存在理由は異なり、行政職員は、非正規職員や外注により代替できるが、議員はそれができず、両者を同列に扱うことはできない。また、AIの活用が図られて、政治への活用についての提案もあり、決定はAIが行えば、議会での討議は不要（AI民主主義）との意見もある。

●結論（まとめ）

- 呉市議会の議員定数は類似団体（合併経験のある中核市）の水準からみて 1.5 人程度多い。
- 過去2回の推定結果と比較すると、実績値と推定値の乖離幅が少し拡大している。呉市の人口減少率は類似団体平均と同程度であったが、類似団体では議員定数を微減させる一方、呉市では据え置いたため、人口10万人当たり議員定数が相対的に増加した。

●議員定数の推定

- ・労働と資本の投入から生産を推定する生産関数という方法があり、これは、議員定数の推定に応用できる。下記の式は、「人口10万人当たり議員定数であり、人口と面積と財政力指数のそれぞれの重みによって説明される」ということを意味する。

$$\text{【式】 人口10万人当たり議員定数} = \text{定数項} \times \text{人口}^\alpha \times \text{面積}^\beta \times \text{財政力指数}^\gamma$$

- ・議員定数を人口と面積と財政力指数から説明することは、直感的にも理解しやすい。議員定数は、面積が増大すれば相対的に増加すると予想されるが、人口規模が大きくなれば（あるいは財政力指数が高くなれば）相対的に減少することが予想される。
- ・この式は、対数に変換すると通常の実験式として表現され、Excelなどで α 、 β 、 γ という重みを計算することができる（ \ln は自然対数を示す）

$$\text{【式】 } \ln(\text{人口10万人当たり議員定数}) = \alpha \times \ln(\text{人口}) + \beta \times \ln(\text{面積}) + \gamma \times \ln(\text{財政力指数}) + \text{定数項}$$

上述の推定式に実際のデータを入力後、自然対数ベースの人口10万人当たり議員定数を推定し、人口を掛けて実際の議員定数を推定した。

過去の推定結果との比較（人）

		呉市の議員定数			議員定数 類団平均	人口(千人)		人口10万人当たり議員定数	
		実績	推定	実績-推定		類似団体平均	呉市	類似団体平均	呉市
①	2017年度データ	32	31.3	0.7	38.3	383	228	10.5	14.0
②	2018~2020年度 平均データ	32	30.7	1.3	36.8	361	218	10.9	14.7
③	2021年度データ	32	30.5	1.5	37.0	357	213	11.1	15.0
	③/①	1.0	0.97	2.14	0.97	0.93	0.93	1.06	1.07

① 合併経験のある中核市 30 団体 ② 合併経験のある中核市 37 団体 ③ 合併経験のある中核市 39 団体

